

# NIHU現代中国地域研究拠点連携プログラム 第4回国際シンポジウム

2011年1月29日(土) 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール  
日中英同時通訳・参加費無料

## 「台頭する」中国と共存する

Coexistence with a "Rising" China

プログラム

9:30

開会の挨拶

平野健一郎 (早稲田大学・東京大学名誉教授)

9:50-12:00

第1セッション 中国はいかに成長を遂げたか? — 中国的发展モデルを問う

司会者: 久保亨 (信州大学/東洋文庫)

報告者: 丁学良 (香港科技大学) "The Chinese Model: Origins and Core Components"

薛進軍 (名古屋大学) 「中国の所得格差 — 高度成長の原動力か障害か」

堀井伸浩 (九州大学)

「エネルギー・環境ボトルネックへの対処:

市場活用型の成功、国家介入型への回帰をどう評価するか」

討論者: 丸川知雄 (東京大学)、岩井茂樹 (京都大学)

13:00-15:10

第2セッション 中国はいかなる変貌を遂げるか? — 政治体制移行の可能性を問う

司会者: 天児慧 (早稲田大学)

報告者: Kjeld Erik BRØDGAARD (Copenhagen Business School)

"Politics and Business Group Interests in China

- Is the Party Still in Control?"

王長江 (中国共産党中央党校、予定)

小嶋華津子 (筑波大学)

「中国の党国体制と労働者—

吸収 (cooptation) とコーポラティズム (corporatism) の現状 (仮)」

討論者: 唐亮 (早稲田大学)、高橋伸夫 (慶應義塾大学)

15:30-17:40

第3セッション 「台頭する」中国といかに共存するか?

司会者: 神保謙 (慶應義塾大学)

報告者: Robert ROSS (Boston College)

"Rise of China and the Development of a Stable Security Order"

王勇 (北京大学) 「中国崛起与全球治理: 国際政治経済学的観点」

添谷芳秀 (慶應義塾大学)

「日米同盟と中国— 『自由で開かれた国際秩序』 の行方」

討論者: 任曉 (復旦大学)、高木誠一郎 (青山学院大学)

17:40

閉会の挨拶

山田辰雄 (慶應義塾大学名誉教授)

主催 / 人間文化研究機構 (NIHU) 現代中国地域研究拠点連携プログラム

共催 / 慶應義塾大学東アジア研究所・現代中国研究センター

問合せ先 / 慶應義塾大学現代中国研究センター (E-mail: cccskieas@info.keio.ac.jp)